

RICHARD NEEDHAM

LONDON
SPEAKER
BUREAU

▪ Deputy Chairman of Dyson Ltd and former DTI Minister



Topics

- Creativity
- Government
- Innovation
- Politics

リチャードニーダム卿は、ビジネスと政治に45年以上を費やしてきました。彼は、アジア、ヨーロッパ、そしてアメリカの公共部門と民間部門の両方への最高レベルのアクセスを他に類のないものにしました。リチャード卿はもともと保守的なMPおよび貿易大臣を務めました。

1985年から1992年まで、リチャードはベルファストの再設計と再建を担当する大臣でした。彼は北アイルランド中で、北のインフラと経済基盤の両方を回って再生する責任がある人物として広く認識されています。

1992年にリチャードは商務大臣に昇進し、マイケルヘッセルティンの代理になりました。彼は3年以上にわたり、英国の輸出戦略全体を見直し、活性化させました。彼はホワイトホールで、戦後イギリスで最も成功した商務大臣として認められています。北アイルランドおよびDTIでの彼の仕事を評価して、彼は1994年に枢密顧問になり、1997年に騎士団になりました。

政治を離れて以来、彼は多くの企業に関わってきました。1995年から1997年にかけてはGEC plc、1997年から2002年にかけてはMeggitt Plc、5年間はLondon Heart Hospitalの会長、そして6年間はBiocompatibles Plcの他の多数の上場会社で国際ディレクターを務めました。

過去16年間にわたり、彼はDysonのディレクターであり、そのうち4人の副会長でした。ヨーロッパ、アメリカ、極東、特に日本における当社の海外販売事業の発展を主に担当しました。彼はまた、製造をマレーシアに移すというダイソンの決断を担当しました。彼は多くのASEANのビジネスおよび政治指導者と密接な個人的な関係を持っています。彼は最近、彼が5年間会長を務めたAvon Plcの役員会から辞任しました。その間、彼は戦略と方向性の完全な変更を監督しました。その結果、当社は、実質的な損失から実質的な利益へと移行することに成功し、株式は25pの最低値から4.50ポンドに上昇しました。

現在は、英国ランクラックの最大のエンターテインメントおよびゲームグループのディレクター、および日本の大手NEC Corporationのヨーロッパ事業のディレクターを務めています。彼は現在Rose Petroleum Plcの会長です。

彼は英国輸出協会の会長であり、貿易促進問題について英国政府に非公式に助言を続ける。彼はまた、コロンビア大統領の平和プロセスに関する顧問も務めています。

リチャードは2冊の本、「名誉会員」と「戦いの平和」の著者です。彼はアルスター大学で名誉博士号を取得し、2004年には日本の皇帝によって「昇る太陽、金、銀の星の勲章」に任命されました。